



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 161 号

発行 平成29年 4 月10日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL0186 (77) 2226

FAX0186 (77) 2227

祝 卒業証書授与式



感謝を伝え

新たな一歩

【中学校卒業式 3月11日】

3月定例会

- 平成29年度当初予算 P 2
- 当初予算の修正案を可決 P 4
- 平成28年度補正予算 P 6
- 審査過程における意見・要望 P 7
- 一般質問 2氏が登壇 P 10
- 議会の動き・編集後記 P 12

万円 (前年度比27.0%増)

万円 (前年度比29.0%減)



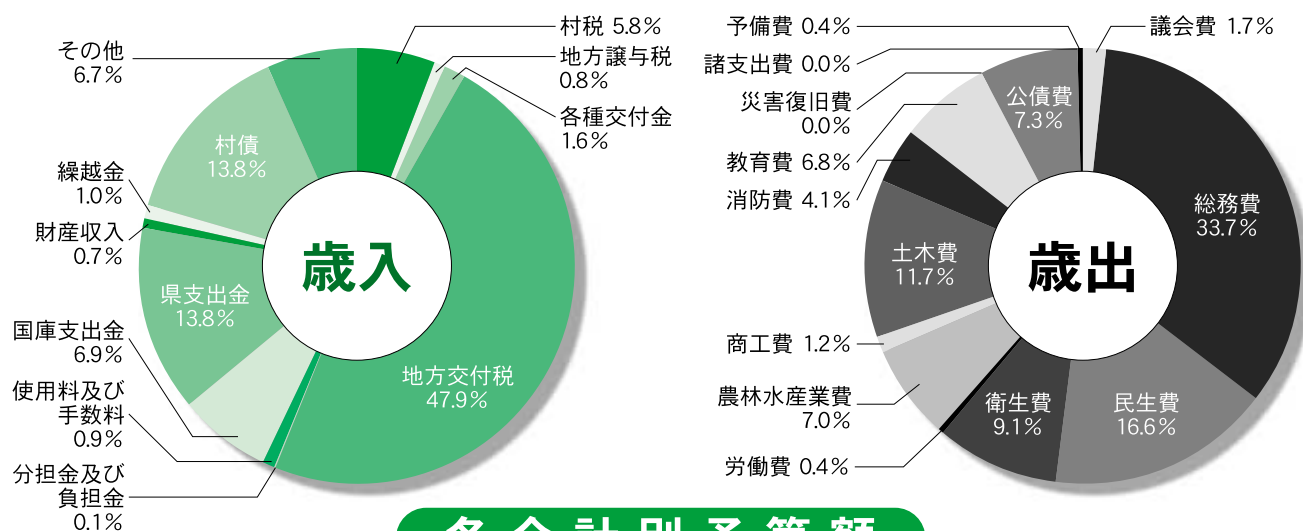
3月定例会

平成29年第1回定例会は、3月2日から14日までの13日間の会期で開催しました。一般質問は2人が登壇し、伝統行事に対する支援、住民の健康づくり、若者の定住対策など4項目について問いました。

本会議の初日には、除雪費1760万円を追加し、6617万円とする一般会計補正予算の専決処分報告を承認、沖田面地区統合簡易水道送配水管布設等工事請負変更契約の締結を可決しました。

最終本会議では、29年度一般会計当初予算案から小水力発電ポテンシャル調査費など1400万円を減額した修正案を賛成多数で可決。これに関連する過疎地域自立促進計画の変更議案を否決いたしました。その他、予算関係議案21件、条例関係9件を原案どおり可決しました。

一般会計予算の割合



各会計別予算額

会計名		予算額	前年度比	一般会計からの繰出金
一般会計		29億7,070万円	27.0%	—
特別会計	国民健康保険事業	4億3,944万円	△3.7%	2,941万円
	国民健康保険診療施設(診療所)	1億2,256万円	△3.1%	5,313万円
	特別養護施設(杉風荘)	0万円	皆減	—
	簡易水道事業	8,031万円	△68.6%	3,120万円
	農業集落排水事業	6,668万円	△16.0%	4,423万円
	下水道事業	4,613万円	0.4%	2,758万円
	介護保険事業	4億7,374万円	2.2%	8,436万円
	後期高齢者医療	3,637万円	△4.9%	1,532万円
小計		12億6,523万円	△29.0%	2億8,523万円
合計		42億3,593万円	2.8%	

一般会計

29億7,070

特別会計

12億6,523

村長の施政方針

平成27年度に策定した過疎地域自立促進計画（総合計画）は、少子高齢化による人口減少に対応する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や秋田県と協働で課題解決するための「未来づくり協働プログラム」が入っている。この総合計画の2年目の村づくりの施策として「健康づくり」「教育立村」「雇用の拡大」の3つを掲げている。

（抜粋）

- ・健康づくり事業の掘り起こしと見直しによって、病気の予防、健康寿命を延ばす施策を進める。
- ・中学生のイングリッシュキャンプ、高校生の海外研修の継続と大学生等の海外留学、農林業研修やスポーツ合宿のための支援策を検討する。
- ・昨年の9月29日、村有林2,000haについて森林認証を取得。100年整備計画を策定し、先人が苦勞して育てた山を承継し、各種の雇用の拡大につなげていきたい。
- ・起業者、事業拡大をめざす人達の支援を図っていきたい。

総合計画に基づく財政計画は、有利な補助事業、起債事業によって対応し、バラマキではなく、将来の上小阿仁村、村民のために必要な施策を予算によって具体化するものである。

総務費

平成29年度一般会計予算の主な歳出は、次のとおりです。

交流人口の拡大をめざし
集住型宿泊交流施設建設工事
4億3029万円を計上

●秋田県町村電算システム
共同事業組合負担金
3995万7千円

●かみこあにプロジェクト
開催委託料 500万円
実行委員会を立ち上げて計画されますが、県の「文化による地域の元氣創出補助事業」の補助金500万円を合わせ、1020万円で開催します。



実行委員と作家によるプレオープンセレモニー（H28.7.31）

●集住型宿泊交流施設建設工事
4億3029万2千円

●バス路線維持費補助金
1848万7千円

バス路線維持のため、バス会社の経常欠損額の一部を補助します。

●物産センター屋根修繕工事
857万2千円

●福祉センター給湯設備改修工事（チップボイラー）
5394万6千円

衛生費

●北秋田市クリーンリサイクルセンター建設費負担金 9550万7千円
北秋田市クリーンリサイクルセンター建設事業（3カ年）に対し、村の負担割合5・7%（計画処理量）分を負担するものです。



建設中のリサイクルセンター

農林水産費

●農家民宿等支援 150万円

農家民宿開業認可申請経費、改修費、農業体験受入を支援するものです。

●元気な中山間農業応援事業 687万5千円

畑作物振興を促進するため、暗渠等の排水対策を目的とした県営中山間水田畑地化整備事業負担金。

●日本型直接支払交付 1291万9千円

農業の多面的機能の維持のため、地域活動や営農活動に対して支援します。

●中山間地域等直接支払交付金 932万円

中山間地域等の条件不利地域（急傾斜地等）の耕作放棄を防止するため、集落協定に基づき支援します。

●野生生産施策センター運営費 1826万2千円

水力発電調査費を減額

関連の過疎計画を全会一致で否決

議案の付託を受けた総務産業常任委員会では、小水力発電ポテンシャル調査事業の有効性を疑問視する意見が多く出され、議員発議により委員長に対して修正案が提出されました。

修正案の内容は、調査費の財源である過疎対策債1400万円を減額。歳出の調査費1730万6千円を削減し、財源調整のため予備費に330万6千円を増額するものです。

この予算案は、昭和41年10月、萩形ダムの完成により杉沢発電所が運転を開始したことに伴い、同年に小阿仁川（大錠）発電所が廃止され、当時の導水路を再び活用できないか、発電施設の可能性を調査するものでした。

説明では「小阿仁川の清流復元のため、発電所の建設を求めてきた経緯がある。

事業の可能性を調査させていただき、データによって商業ベースでは民間に、可能だとすれば公共事業として村の収入になるよう取り組みたい」と説明がありました。

委員からは「結果次第では将来、発電所を造って売電か、集落に供給するのか、公共施設の将来構想があるのか、見込みがなければ中止するのか」「新規の過疎債事業にも関わらず、事前説明がなく計画が乱暴すぎる」など意見が出され、

常任委員会で起立採決した結果、修正案を賛成多数で可決しました。

本会議の最終日には、齊藤鉄子議員が賛成の立場から「本場に必要事業なのか判断材料が示されていない。調査後の事業計画が不透明の中で進もうとしている」などと討論。議長を除く起立採決の結果、起立5人で修正案が可決しました。また、同事業に関連する過疎地域自立促進計画の変更議案は全会一致で否決されました。



賛成討論を述べる齊藤鉄子議員

● 林業経営100年整備計画
作成委託料

1188万円

村の林業経営に係る長期計画を作成し、林業の活性化を図ります。

● 造材事業

1940万2千円

搬出間伐8・08ha（仏社字上合地）、皆伐3ha（南沢字箱刈岱）を実施します。

● 社会資本総合整備事業
（村道舗装）

1億2797万2千円

平成25年の路面性状調査によるひび割れ率35%以上の箇所を平成30年まで計画的に補修します。

● 社会資本総合整備事業
（道路橋修繕計画）

800万円

道路橋38橋の長寿命化計画を策定します。

● 社会資本総合整備事業
（道路橋修繕計画）

2200万円

上小阿仁橋の解体測量設計を実施します。

● 社会資本総合整備事業
（橋りょう補修）

2400万円

大林・菊桜岱橋を補修します。

● 村営住宅修繕工事

1710万9千円

村営住宅の経年劣化による屋根の葺き替え、屋根の塗装、外壁の塗装を行います。

土木費

● 道路除排雪費

6845万9千円

平成26年から村道除雪を路線ごとの委託方式に変更しており、村道107路線中の41・9kmと、その他42箇所7・6km、合計49・5kmを除雪します。



今年度は、降雨等による出勤が増え、除雪費1760万円を追加

消防費

● 常備消防委託料

9805万円

消防に係る事務を北秋田市へ委託します。

教育費

● 高校生海外研修事業

375万3千円

村内在住の高校生を対象（5名）に、海外研修（アメリカ合衆国シアトル市）を実施。ホームステイ等の体験を通して異文化にふれ、心豊かでたくましい青少年を育成します。

● 中学校エアコン設置工事

534万6千円

パソコン教室の更新と音

楽室にエアコンを設置します。

● 地域センター体育館トイレ改修工事

215万円

トイレ大小各1基を設置します。

● 旧学校給食センター解体工事

1083万2千円

● トレーニングセンター照明器具改修工事

775万9千円

水銀灯からLED照明に交換します。



昨年の高校生海外体験研修
（ボーイング社の航空機組み立て工場を見学）

平成28年度補正予算

平成28年度一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、財政調整基金積立金などの追加により、1073万円を減額し、予算の総額を25億6763万円にしました。また、特別会計は総額で4821万円を減額し、総額を17億6446万円としました。

条例議案等

10議案

今定例会で条例議案等10件が提出されましたが、うち1件を否決しました。

可決した条例議案等

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
農業委員会法の改正によるものです。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正



約20人が出席した新農業委員会制度に関する説明会(2月27日)

秋田県人事委員会の勧告により改正するものです。

●特別会計条例の一部改正
上小阿仁村特別養護老人ホーム杉風荘の民営化に伴うものです。

●上小阿仁村村税条例の一部改正

●上小阿仁村工場誘致条例の一部改正

村内への工場誘致に対する支援の充実を図るため、雇用促進奨励金を従業員1人あたり「15万円」から「年額20万円」に、村内居住の従業員にあつては、「25万円」を「年額30万円」に改正するものです。

●上小阿仁村工場新設並びに増設の奨励に関する条例の一部改正

新設工場の場合、奨励金措置の対象従業員数「10人以上」を「3人以上」、工場増設の場合、「5人以上増加」を「1人以上増加」に改正するものです。

●上小阿仁村道路占用料徴収条例の一部改正
道路法施行令の改正によるものです。

●上小阿仁村特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
入居者の資格等について、

上小阿仁村営住宅管理条例の規定との統一を図るためのものであります。

●秋田県町村電算システム共同事業組合規約の変更

否決した条例議案等

●上小阿村過疎地域自立促進計画(平成28年度〜平成32年度)の変更

陳情 2件

3月定例会では、2件の陳情を審査しました。

採 択

◆地域別最低賃金の引きあげと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情
(提出者)
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 渋谷 一

不 採 択

◆共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情
(提出者)
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 渋谷 一
秋田県労働組合総連合
議長 星野博之

意見書 1件送付

陳情採択に伴う意見書1件を議員発議し、本会議で可決。関係機関に意見書を送付しました。

◆地域別最低賃金の引きあげと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める意見書
(意見書提出先)
内閣総理大臣
厚生労働大臣

アートイベントに絡ませ 交流人口の拡大へ

総務産業常任委員会に付託された議案について、3月3日から7日間にわたって審査し、質疑された意見・要望をとりまとめ、当局に対して文書で回答を求めました。(要旨)

当初予算関係

当初予算全般

▼意見 議会側から要望していた各種団体・各種負担金等については、前年度においても「検討する」と答弁しているが、一向に反映しておらず誠意が見られない。村において、欠かすことのできないものは、少額でも切り捨てることの無い

よう逆に継続をお願いし、増額するなどの予算も心掛けることが重要である。

また予算の見積について、正確さに欠けるものは、正確さに欠けないものが根拠が明らかでないものが多く、議案の差し替え、誤字脱字、更には計上漏れなどで発生している。このようなことから常任委員会の審査日程に支障を来すことになった。緊急に職員会議等を開催し、職員の資質を向上させたい。

▼回答 補助金等について

は、過去において10%削減を行っていたが、今は削減を行っていない。補助金については、繰越金なども検討しており、切り捨ては行っていない。婦人会については、今回、環境衛生協力員業務委託料と保健指導員委託料に手数料としてそれぞれ1万円、合わせて2万円を増額計上している。予算見積りについては、決算額で見積るように指導、職員に周知徹底を図りたい。

過疎計画と小水力発電 ポテンシャル調査費

▼意見 この調査費について

では、調査する以前に地権者、施設所有者、工事にあつたつの橋梁使用等数々の事前確認と協議を終えている事が前提であり、尚且つ議員に相談も協議も無く、議会軽視した横暴な予算措

置である。県営の小水力発電ダムのようなものが果たして村に必要なものかも疑問である。過疎計画の変更についても前年度において「変更が生じた場合は、議会に相談する」と答弁しており、実効性がない。

▼回答 昨年の12月定例会

において、一般質問でも答



滑落している導水橋(旧大錠集落の上流部)